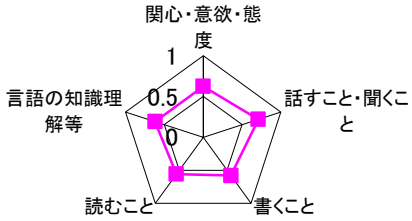
平成29年度　　**教科名[国語]**　　中15　　練馬区立光が丘第一中学校

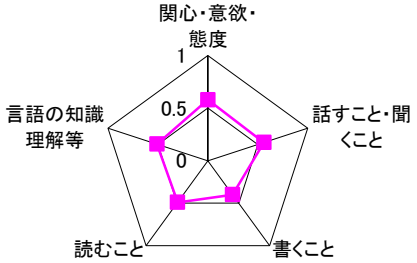
内容別・観点別の分析　（様式2）

1年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	62%
話すこと・聞くこと	71%
書くこと	58%
読むこと	56%
言語の知識理解等	62%



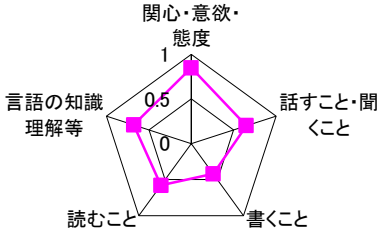
定期考査及び7月までの指導状況の分析

2年	観点別平均達成率
関心・意欲・態度	58%
話すこと・聞くこと	56%
書くこと	40%
読むこと	49%
言語の知識理解等	51%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

3年	観点別平均正答率
関心・意欲・態度	85%
話すこと・聞くこと	65%
書くこと	42%
読むこと	58%
言語の知識理解等	68%



定期考査及び7月までの指導状況の分析

指導方法の課題分析と具体的な授業改善策及び補充学習等の計画　（様式３）

	指導方法の課題分析	具体的な授業改善策	補充的・発展的な指導計画
1年	各観点において、極めて平均的であり、飛び抜けた生徒も、特に遅れている生徒も少ない。特に高い関心や意欲を持った生徒を育てていく指導について検討している。	課題設定の工夫。基礎的な学力が定着することを前提としながらも、特に発展的な課題に、意欲的に取り組む生徒が増えていくような工夫が求められる。	自ら、十分考えながら、解決策を導き出せるような課題、積極的な思考を導き出せるような課題の設定を指導の過程にとりいれていく。
2年	課題の意図を十分理解し、意図に即して自分の考えを「書くこと」「話すこと」に難点がある。「書くこと」「話すこと」としてのみとらえるのではなく、総合的に指導していく必要がある。	「読みとる」力、「聞きとる」力、を十分考慮しながら、「書くこと」「話すこと」の課題を設定できるように配慮する	課題を読み取れたか。課題を聞き取れたか。という段階で、それを確認する過程を設けた計画を立てる。
3年	自分の考えを文章化することに抵抗がある生徒が多い。型が理解出来ていないという点と自分の考えをもてないという点の二点についての指導不足だと考える事ができる。	授業の中で書く作業を繰り返し行い、その中で双括型、尾括型、頭括型等、選択して書かせるようにする。 班活動等の交流の場を設け、意見の交換をしていく。	補充…穴抜きの文章を用意して、そこに自分の考えを埋めるようにして文章を完成させていくプリントを準備する。 発展…自分の意見とは違う角度の意見で文章を展開する。